

次期ネットワークサービスシステム（NSS2025）について

2026年3月1日から次期ネットワークサービスシステム（NSS2025）が稼働します！

現在ご利用いただいているネットワークサービスシステム（NSS2021）は今年度の2月末で役割を終え、3月1日からは次期ネットワークサービスシステム（NSS2025）が稼働する予定です。NSS2025では、長らくご利用いただいた@affrc.go.jpのメールのサービスを終了するなど、大きく様変わりいたします。利用者の皆様へ向けて、**メールサービスの終了に伴う移行の手順や、NSS2025で変わる事のご案内ページ**を公開しておりますので、ぜひご確認ください。

次期ネットワークサービスシステム（NSS2025）について

<https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/help/nss2025/start>

NSS2025の考え方

上記ご案内ページでも「NSS2025の設計のポイント」としてご説明していますが、NSS2025では**法人で契約しているOfficeツール（Microsoft365）との利用者情報の共有や、重複する機能の整理**を行うことで、効率の良いシステムを目指しています。その一方で、代替機能では、安価で安全な提供が難しく、利用者も多いメールリスト等のサービスは、引き続き提供を行います。

今後のNSSはどうなる？

次期以降のNSSの構想はこれからですが、

- 法人と重複しないサービス
- 筑波産学連携支援センターの他のサービスとの連携

という方針には変わりがないと思われます。

NSS2025では、当センターのサービスの管理部分をNSSに統合する設計を行っておりますので、この方向が継続される可能性、程度の見通しとなっております。



現在の形のネットワークサービスシステムは2001年度に稼働を開始し、今年で4半世紀を迎えます。当時「インターネット」「電子メール」は最新技術で、「SNS」や「クラウド」のような言葉は存在しなかった時代です（「この指とまれ！」や「グリッドコンピューティング」など、類似の概念・サービスはありました）。そのような時代の設計をこれまで継ぎ足しや改修で維持してきたシステムですが、現在の技術に合わせた再設計が必要になってきています。

「新しく観測されたカテゴリ」でWebアクセスがブロックされた場合は

攻撃に用いるウェブサイトは攻撃者がその都度作成し、内容もリニューアルするなど用意周到です。

MAFFINは、その特徴である「新しいウェブサイト」であることを逆手に取り、「新たに観測されたカテゴリ」としてブロックする防御法を実践しています。

学会などが年度ごとに新たに作成したページも該当してしまいますが、一定期間後、再評価され正しいカテゴリに登録されます。アクセスがブロックされた際は、右の手順にて、ご自身で再評価を依頼することができます。

Webサイトのカテゴリ再評価依頼手順

①ブロック画面で「カテゴリ再評価」をクリックします。

カテゴリ再評価 (Request Re-Evaluation)

②画面の案内に従って申請を行います。

③結果は、入力したメールアドレス宛にレポートが届きます。

④反映されてアクセス可能になるまでに少し時間を要します。

※Webフィルタについて詳しくは、以下のURLをご参照ください。

<https://itcweb.cc.affrc.go.jp/affrit/inside/security/webfilter.s>



トピックス:

詐称メールにご注意ください

関係組織やサービス提供者を装った不審メールが、生成AIの普及に伴い、より巧妙で説得力のある内容になっています。たとえ自分に関係がありそうに見えても、送信元を慎重に確認し、十分に注意してください。

ニュースはWebで発信しています。

AFFRIT Portal » 農林水産研究情報総合センターニュース
<https://itcweb.cc.affrc.go.jp/affrit/inside/publications/affrit-news/start>